

# 岐阜県のがんを知る

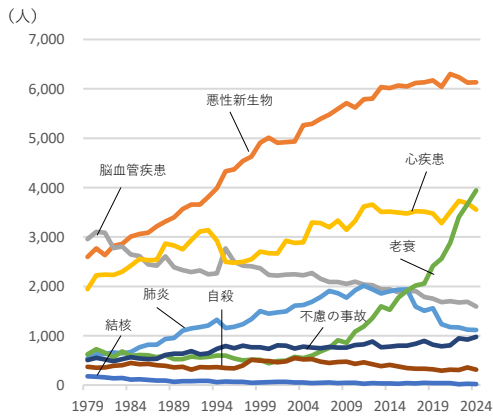
## —がんの現状と取組内容—



日本人の「がん」（悪性新生物）の死亡数と罹患数は、人口の高齢化を主な要因として、ともに増加し続けています。岐阜県では、1982（昭和57）年から死亡原因の第1位となっており、2024（令和6）年には年間6,131人の方が「がん」で亡くなっています。

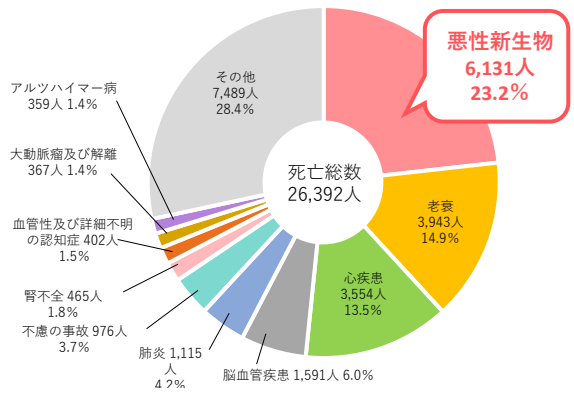
\* 罹患（りかん）：病気にかかること

### ●岐阜県の主要死因別死亡数の推移



出典：岐阜県令和6年衛生年報

### ●岐阜県の全死因に占めるがんの死亡割合



出典：岐阜県令和6年衛生年報

国立がん研究センターがん情報サービス「最新がん統計」によれば、日本人が生涯でがん罹患する確率は男性63.3%、女性50.8%（2021年データに基づく）、生涯でがんで死亡する確率は男性24.4%、女性17.2%（2024年データに基づく）と推計されており、**がんはとても身近な病気**と言えます。

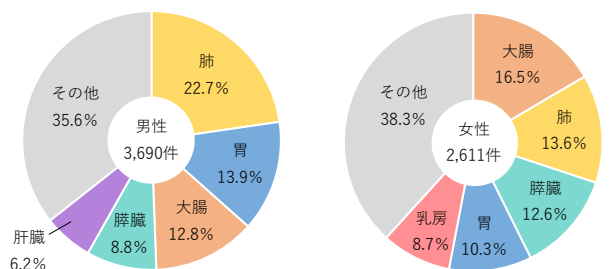
### ◆岐阜県のがんの状況【死亡】

#### ●死亡数の多いがんの部位（2021年）

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

出典：岐阜県のがん登録2021年次集計結果

#### ●死亡部位別のがん死亡数の割合（2021年）



出典：岐阜県のがん登録2021年次集計結果

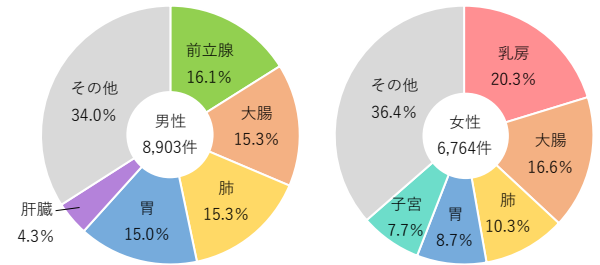
## ◆岐阜県のがんの状況【罹患】

### ●罹患数の多いがんの部位 (2021年診断症例)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	大腸	肺	胃	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮
男女計	大腸	肺	胃	前立腺	乳房

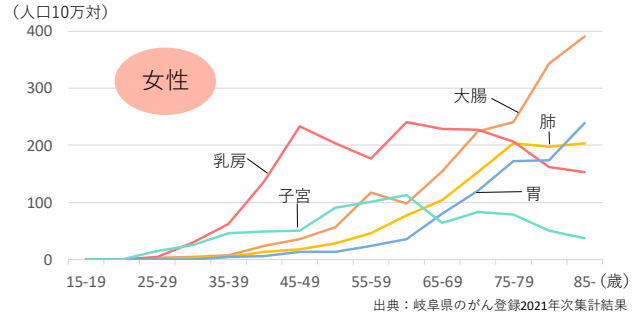
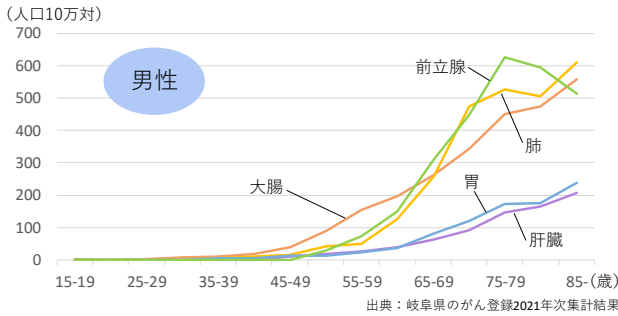
出典：岐阜県のがん登録2021年次集計結果

### ●罹患部位別のがん罹患患者数の割合 (2021年診断症例)



出典：岐阜県のがん登録2021年次集計結果

### ●がん罹患率の年齢による変化 (2021年診断症例)



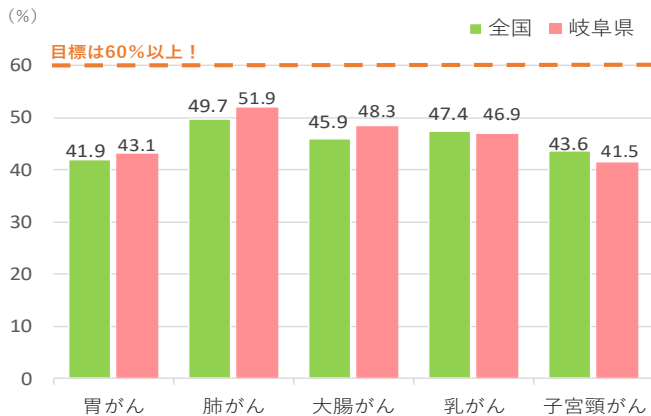
男性は40代から大腸がんにかかる人が増えはじめ、60代から胃、肺、前立腺がんが急増します。

女性は20代から子宮がん、30代から乳がんにかかる人が増加し、若い世代でもがんにかかる人が多いことがわかります。

## ◆岐阜県のがん検診の状況

がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減らすことです。

### ●岐阜県のがん検診受診率 (2022年)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(国民生活基礎調査) 受診率算出方法：過去1年以内に胃・肺・大腸がん検診を受診したと回答した者、過去2年以内に乳・子宮頸がん検診を受診したと回答した者の割合。がん検診の受診場所(職場、人間ドック、病院、自治体等)は問わない。対象年齢：胃・肺・大腸・乳がん検診は40-69歳、子宮頸がん検診は20-69歳。

### ●市町村で受けられるがん検診

職場等でがん検診を受診する機会がない方は、住民登録がある市町村で受診することができます。市町村で受けられるがん検診は下記のとおりです。自己負担500~2,000円程度で受診することができます。

お住いの市町村のがん検診窓口はここからチェック!



部位	検査項目	対象者	頻度
胃がん	問診に加え、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上	2年に1回
		当分の間、胃部エックス線検査は年1回、40歳以上	
大腸がん	問診および便潜血検査	40歳以上	年1回
肺がん	質問(問診)、胸部エックス線検査	40歳以上	年1回
乳がん	質問(問診)および乳房エックス線検査(マンモグラフィ)	40歳以上	2年に1回
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診および内診	20歳以上	2年に1回
		問診、視診およびHPV検査(一部市町村で実施)	30歳以上

### ・がん検診を定期的に受けましょう。

がんは初期段階には自覚症状がないことが多いため、早期発見のためには定期的に受診することが大切です。

### ・「要精検」(精密検査が必要)判定時は早めに医療機関で詳しい検査を受けましょう。

精密検査が必要と判定されても詳しい検査を受けなければ、早期治療の機会を逃します。

### ・体調変化がある場合は必ず医療機関を受診しましょう。

上記5つ以外のがんや、がん以外の病気を見つけるために、日頃からご自身の身体の変化には気を配りましょう。

# ◆岐阜県のがんに関する取組

岐阜県では、第4次岐阜県がん対策推進計画（令和6年度～令和11年度）を策定し、がん対策を推進しています。県、市町村、がん患者を含めた県民、医療従事者、医療保険者、事業主、患者団体等の関係団体、マスメディア等が一体となって、取組を進めています。

## 第4次岐阜県がん対策推進計画の概要

目標：誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民が、がん向き合える暮らしを目指す

### 分野別施策

<b>1 がん予防</b> (1) がんの1次予防 (2) がんの2次予防（がん検診）	<b>2 がん医療</b> (1) がん医療提供体制等 (2) 希少がん及び難治性がん対策 (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策 (4) 高齢者のがん対策 (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装	<b>3 がんとの共生</b> (1) 相談支援及び情報提供 (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援 (3) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援） (4) ライフステージに応じた療養環境への支援
<b>4 これを支える基盤</b> (1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進 (2) 人材育成の強化 (3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発 (4) がん登録の利活用の推進 (5) 患者・県民参画の推進 (6) デジタル化の推進		

### ●「1 がん予防」における主な取組①： がん検診の精度管理

市町村で実施するがん検診が、国の指針(※)に沿った有効な方法で行われるよう、がん検診や精密検査の実施状況等を確認し、がん検診の質を高め、安心して受診できる体制づくりを進めています。

※「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」を指します。

### ●「1 がん予防」における主な取組②： 市町村に対する子宮頸がん検診への補助金

子宮頸がん検診の受診率は20代で低い一方、罹患率は20歳代から上昇しています。若い世代が検診を受けるきっかけとなるよう、25歳の子宮頸がん検診を無料化し、受診率の向上に取り組んでいます。

### ●「1 がん予防」における主な取組③： 子宮頸がん予防リーフレットの配布

子宮頸がん検診やHPVワクチン接種(※)の大切さを多くの方に知っていただくため、啓発リーフレットを作成し、配布しています。

※HPVワクチンは、小学校6年～高校1年相当の女子を対象に、予防接種法に基づく定期接種として、公費により接種することができます。



### ●「1 がん予防」における主な取組④： 乳がん検診啓発活動の実施

多くの方が訪れるショッピングモールなどで乳がん検診の大切さをお伝えするとともに、乳がん検診バスによる検診も行い、乳がん検診を身近に感じていただけるような啓発活動を進めています。



### ●「2 がん医療」における主な取組①： AYA世代（15～39歳）のがん患者に対する支援

AYA世代は、心身の発達段階や、学業・就業等の個々の状況に応じた支援が必要です。支援者向けの研修会や患者交流会などを通して、AYA世代のがん患者さんやご家族が安心して療養できる環境づくりを進めています。

AYAWEEK（AYA世代のがんの普及啓発イベント）の様子



アピアランスケア（がん治療に伴う外見の変化による苦痛を軽減するケア）ブースでは、スキンケア体験を実施。

### ●「2 がん医療」における主な取組②： がん生殖医療に関する支援及び助成

将来子どもを産み育てることを望む若年がん患者さんの経済的負担を減らすため、生殖機能温存などの治療費の一部を助成しています。あわせて、医療機関が連携して治療や支援を行えるように体制づくりを進めています。



●「3 がんとの共生」における主な取組①：がんに関する情報の発信

がんに関する情報はあふれていますが、なかには科学的根拠が十分でないものも含まれています。必要ときに自分に合った正しい情報を得て適切に判断できるよう、リーフレットや「ぎふがんねっと」にて信頼できる情報を発信しています。



●「3 がんとの共生」における主な取組②：がんに関する相談支援

「がん相談支援センター」では、がん患者さんやご家族が、医療のことから生活のことまで、さまざまな悩みを無料で相談できます。県内9か所のがん診療連携拠点病院に設置されており、受診の有無にかかわらず、どなたでもご利用いただけます。どうぞ安心してご相談ください。



がん診療連携拠点病院及びがん相談支援センターの紹介



岐阜県内のがん診療連携拠点病院

岐阜：①岐阜大学医学部附属病院  
都道府県がん診療連携拠点病院  
小児がん連携病院

岐阜：②岐阜県総合医療センター  
地域がん診療連携拠点病院

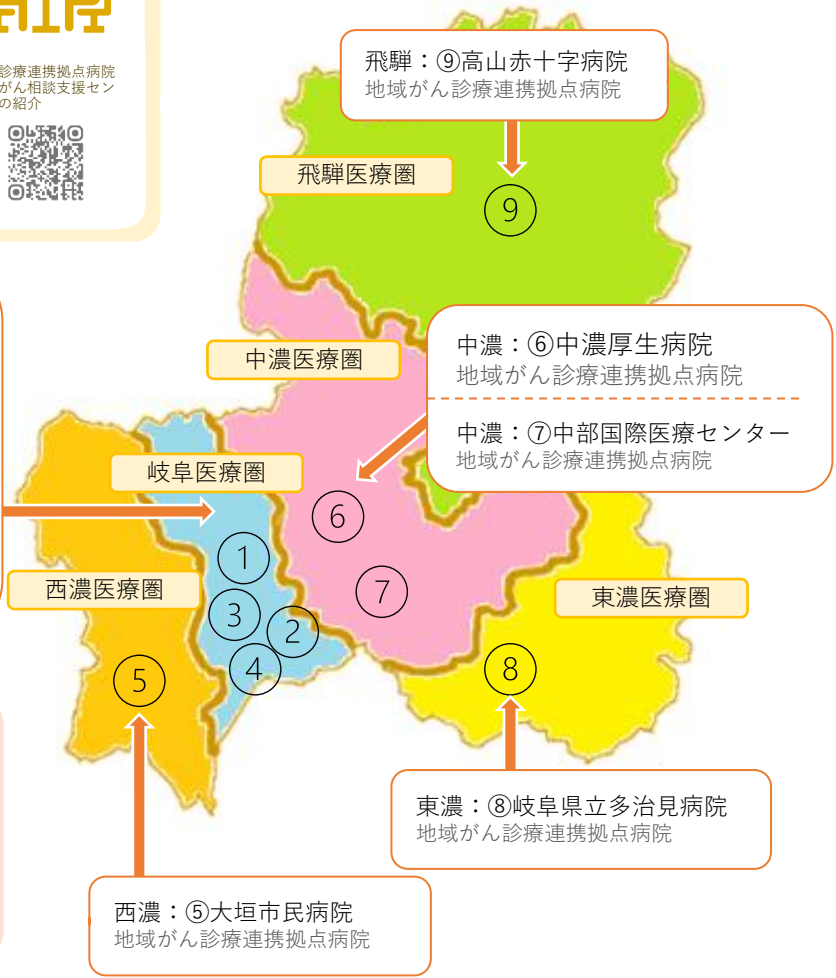
岐阜：③岐阜市民病院  
地域がん診療連携拠点病院  
小児がん連携病院

岐阜：④松波総合病院  
地域がん診療連携拠点病院

がん診療連携拠点病院が中心となり、地域の医療機関等と連携しながら、岐阜県内のがん医療を担っています。

【役割】

- ・様々な治療法を効果的に組み合わせたがん治療を行います。
- ・がん診断時から苦痛をやわらげるケアを行います。
- ・がんに関する相談支援を行います。



飛騨：⑨高山赤十字病院  
地域がん診療連携拠点病院

飛騨医療圏

9

中濃医療圏

中濃：⑥中濃厚生病院  
地域がん診療連携拠点病院

中濃：⑦中部国際医療センター  
地域がん診療連携拠点病院

岐阜医療圏

西濃医療圏

東濃医療圏

西濃：⑤大垣市民病院  
地域がん診療連携拠点病院

東濃：⑧岐阜県立多治見病院  
地域がん診療連携拠点病院

●「3 がんとの共生」における主な取組③：がん患者への費用助成に対する補助金

がん治療の影響に伴う対応が必要な方を対象に、次の費用の助成を行っています。申請先はお住いの市町村です（※）。

- ①小児がんの治療によりワクチンを再接種する必要がある方
- ②がん治療による外見の変化に対応するため、医療用補正具（乳房補正具や全頭用ウィッグ）を購入された方



※市町村ごとに制度、実施状況、要件が異なりますので、市町村窓口へお問合せください。

●「4 これを支える基盤」における主な取組①：がん教育

子どもたちが、がんに関する正しい知識やがん患者さんへの理解、命の大切さを学べるよう、学校で「がん教育」を行っています。医療従事者や患者団体の方と連携し、実際の経験を子どもたちに伝えています。

